

広島乳腺診断プラザ「カープピンクリボンバッジプロジェクト助成事業」報告書

ヒロシマダイガクビョウインビョウリシندانカ

広島大学病院病理診断科

広島乳腺診断プラザ

広島乳腺診断プラザでは、広島県内で乳腺診療に携わる外科医、放射線診断及び治療医、病理医、診療放射線技師、超音波検査士、細胞検査士が全体で約 70-100 名参加し、4-5 例の様々な乳腺疾患の乳腺画像検査像と病理像の対比を行うことで互いに理解を深め、より精度の高い乳腺診断のスキルを身に付けることを目的としています。症例検討の前に予め各症例の高精細な検査画像を参加者に供覧するために、大阪市の株式会社ネットカムシステムズが無償でビューワー機器を搬入、設置して参加者のための便宜を計ってくれます。乳腺疾患の画像検索上の特徴だけではなく、生物学的な特徴などについても議論が交わされ、他の学会や研究会では『今更こんなこと聞けない』という事項でも懇切丁寧な解説を聞くことができます。

症例検討の後、乳腺の画像診断や病理診断のエキスパートを講師として招聘し、特別講演会を開催します。これにより症例検討で指摘された問題の核心や画像診断と病理診断の最近のトピックスあるいは勘所を理解し、講師との議論を通して問題点を抽出する一助としています。このような濃厚な内容の研究会を開催するためには、機器整備費、講師の旅費、宿泊費及び講演料などの経費が発生します。そこで本研究会の助成をお願いしました。

今年度は武漢肺炎のため本研究会の開催が困難ですが、来年度は開催する予定ですので、その際には今回ご高配いただいた助成金を有効に役立てたいと思います。